学　校　通　信

令和２年９月１日 No.１２

あ　か　さ　き

佐世保市立赤崎小学校

文責　校長　鶴田　和久

９月からの学校の新しい生活様式

前期後半が始まり、１週間が過ぎました。学校内では、子どもたちの話し声や笑い声など、たいへんにぎやかで、その元気あふれる様子が音として校長室に伝わってきます。やはり、学校には子供たちの姿が一番合います。

しかし、暑くなれば収まるのではないかといわれていた、新型コロナウイルスは、逆に長崎県においても罹患者が増加することとなり、油断できない状況が続いています。それに加え連日暑い日が続き、熱中症も気になるところです。あわせて、今週水曜日の午後から木曜日の午前中には長崎県へ最接近しそうな台風９号の動きも気になるところです。

今週から９月に入りますが、まだまだ残暑は続きそうです。しばらくは、疲れて帰ってくるのではないかと思います。子どもたちの健康管理につきましては、今後ともよろしくお願いします。

さて、そのような中、見出しのように「学校の新しい生活様式」の改訂版が文部科学省より届きました。今年度の５月２１日付の学校通信№４におきましてもお知らせしましたが、この「学校の新しい生活様式」には、３つの密を避けるという視点から、学校での教育再開に関して、「適切な距離を保つこと」や「「手洗いの徹底」「学習活動中のマスク着用をはじめとした咳エチケットの励行」「児童下校後の消毒」留意すべき点が記されており、それらの記載に基づきながらこれまで学習活動を実施してきたわけです。

短縮授業の期間が終わり、今後、通常日課での学習活動を実施していくうえで、以下のような取組・指導を行っていきます。

１　学校施設においては、消毒によりウイルスをすべて死滅させることは困難であることを踏まえ、手洗い・咳エチケット及び免疫力の向上という基本的な感染症対策を重視する。

＊器具･用具や清掃道具など共用する物については、使用の都度消毒を行うのではなく、使用前後に手洗いを行うようにする。(体育用具　等)
＊但し、大勢がよく手を触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチ等）は一日一回、消毒を行う。消毒の方法については、最新の検証結果等を反映し、次亜塩素酸水･アルコール消毒液等でも可とする。

２　登下校時など、教師の目が届かず熱中症等のおそれがあるため、マスクを外す場合は、人と十分な距離を確保する、会話を控える基本的な感染症対策を重視する。

＊校内での学習活動等で、身体的距離が十分とれない場合にはマスクを着用する。
＊熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、気温･湿度や暑さ指数が高い日にはマスクを外すよう指導する。
＊マスクを着用する必要がない場合。
　1）十分な身体的距離が確保できる場合
　2）気温･湿度や暑さ指数が高く、熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合
　3）体育の授業
＊児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導する。
＊登下校時も同様に気温･湿度や暑さ指数が高い時はマスクを外すよう指導する。

つまり、以下のことが大切になってきます。

★　登下校時など、暑苦しさを感じた場合はマスクを外してよいが、周囲の人とは距離をとり、大きな声も出さないようにする。

★　校舎内での活動では、マスクやハンカチが必要となるので、マスクやハンカチを忘れないようにする。

また、以上の取組のうち、登下校時などでマスクを外すという取組は、熱中症の危険性に対応するためのものです。気温が下がり、インフルエンザが心配される時期になれば、また、取組は変わってくると考えられます。その際には、またお知らせをいたします。

いつも見守っていただき、ありがとうございます

８月２７日（木）、午後１時から赤崎２組の見守り隊の皆さんが赤崎小学校に集合されました。例年行っているとのことで、子どもたちと一緒に通学路を歩いて帰られながら、危険個所や１１０番の家の確認をされるとのことでした。

申し出がなされたときは、ちょうど暑い盛りの日でしたので、

「まだまだ暑い日が続いていると思うのですが、よろしいのでしょうか。」

とお尋ねをすると、

「子どもたちも暑い中を帰っているのだから、大丈夫。」

とのお答え。

このような手厚い見守りを受けながら、赤崎小の子どもたちや赤崎小学校は安全で安心な生活を送ることができているのだなと、ありがたく思いました。

今回は、たまたま赤崎２組の様子を紹介させていただきましたが、他の地区におかれましても、毎日、子どもたちと一緒になって登校していただきながら見守っていただいていたり、危険個所に立たれ、安全を見極めていただいたりしています。この場をお借りし、改めて感謝の意を表したいと思います。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。